

2020年度東海地区協議会研究会第3回運営委員会議事録

日 時 2020年12月3日(木) 14:10～16:10
場 所 藤田医科大学
出 席 加藤・榊岡(愛知工業大学)、杉山(藤田医科大学)、大橋(人間環境大学)、
田島(愛知学院大学)、山田(愛知淑徳大学)、田中(金城学院大学)、
石橋(皇學館大学)、丸(椋山女学園大学)、古川(中部大学)、
林(東海学園大学)、澤木(名古屋女子大学)、松橋(日本福祉大学)、
川村(名城大学) 計13校14名

配布資料 1. 「大学図書館構成員に関する調査」報告書(案)
2. 「大学図書館構成員に関する調査」回答(集計表・取りまとめ)
3. 2020年度研究会について
4. 新型コロナウイルス拡散防止対策に関するアンケートについて

議事進行は、2020年度委員長校の愛知工業大学・加藤が担当した。

議事に先立ち、委員交替があったこと及び今年度初の対面開催であるため、改めて自己紹介を行った。

議 題

1. 「大学図書館構成員に関する調査」結果の報告について

主幹事校(藤田医科大学)から、資料の説明に先立ち、本日予定していた研究会会場の下見は中止とさせて頂く旨の報告があった。続いて、資料1に基づき表記調査結果の説明があった。

委員長校から、資料1に「加盟する図書館関連団体」と「業務継承等に関する自由記述」が含まれていないため、まずこれらを調査結果報告に含めるかどうかについて意見を伺いたいとの発言があった。協議の結果、資料の一部訂正を含めた以下の事項が了承された。

[資料訂正箇所]

○資料1 「3. 調査結果」

50枚(送付数50枚の100%) ⇒ 50館(回答率100%)に訂正

[調査結果報告について]

(1) 報告時期・方法

研究会開催案内を送付する前に、調査回答に協力頂いた全館に対し、メール添付で送付する。

(2) 報告内容

- ・資料2の「加盟する図書館関連団体」及び「継承等に関する自由記述」も含め、調査回答項目は全て公開・報告する。
- ・大学名が特定される内容等についての修正と文体の統一を行う。

なお、委員長校から、加盟館に報告する最終的な調査結果内容及び案内文については、後日、メール審議で確認させて頂きたい旨の提案があり、了承された。

引き続き、主幹事校・委員長校から、案内文作成と調査結果内容の精査・確認作業について、他の委員校（1～2校）にご協力いただきたいとの依頼があり、以下2校の委員の方に了承いただいた。

- ・田島委員（愛知学院大学）
- ・澤木委員（名古屋女子大学）

2. 2020年度研究会について

主幹事校から、資料3に基づき研究会の開催方式及びプログラム修正案の説明があった。現在の社会情勢等を踏まえるとリモート開催が望ましいこと、更にリモートで1日開催とするとホスト側・参加者双方の負担も大きいことから、第2部は次年度開催として今回は第1部のみのリモートによる半日開催としたいとの提案について、協議を行った。

その結果、現在の社会情勢を踏まえて対面形式は見送り、リモートによる半日開催とし、第1部に予定していたNPO法人・牛崎氏の講演を行うことが承認された。

なお、今後は委員長校、主幹事校、講師の牛崎氏で、リモート開催に向けて検討を進めることとし、検討の進捗状況は適宜、運営委員へ報告し情報共有することが了承された。その他の意見等については次のとおり。

- ・第2部（NII）を2021年度研究会で開催する主幹事校提案については、研究会事業は任期も含めあくまで1年単位として考えるため、内容引継ぎの可否を含め、次年度の委員長校・主幹事校に判断頂くこととする。
- ・リモート開催の場合においても、研究会当日、委員長校、主幹事校等はいずれかの場所に集合し、トラブル対応等に備えることが必要ではないか。

また、委員長校から、今年度理事校である日本福祉大学（松橋委員）に対し、今年度は『館灯』を刊行しないが、今年度研究会の講演録作成時期等については改めて相談させて頂きたい旨の発言があった。

3. 新型コロナウイルス拡散防止対策に関するアンケートについて

委員長校から資料4に基づき説明があり、アンケート実施要領についてご意見を頂きたいとの発言があった。協議の結果、以下のことが了承された。なお、委員長校から、アンケート結果報告の方法等については今後の継続審議としたい旨の発言があり、了承された。

[了承事項]

- ・アンケートの回答基準日程・調査対象期間に関しては、感染拡大が始まった時期から年内までの間で実践された取り組みをすくい上げる形式とする。
- ・回答単位は加盟館単位で依頼し、各大学で特記事項等があれば、記述式で回答頂く形式とする。

- ・アンケートタイトルを「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に関するアンケートについて」に変更する。

続いて、委員長校から資料4のアンケート（案）について説明があり、運営委員から以下の意見が出された。

○各設問について

Ⅱ. 開館状況

- ・②開館状況について（ ）時間短縮
時間短縮は複数パターンで対応しているケースがあるため、自由記述欄を追加してはどうか。

Ⅲ. 感染防止策

- ・①入館時チェック、②入館記録
利用者の滞在時間、レファレンス対応の所要時間の記録等に関する取り組みが聞けると良い。
- ・③感染防止対策事例<利用者>
【選択項目例】机・椅子・PC等備品消毒について、具体的な内容（消毒を行う範囲、頻度等）が聞けると良い。
- ・④感染防止対策事例<事務>
【選択項目例】事務室レイアウト変更について、その規模の大きさを聞けると良い。

V. テレワークについて

- ・時差出勤の有無や自家用車通勤の許可等、通勤手段に関することも聞けると良い。

○新たな設問追加について

- ・キャンパス間の移動について
- ・データベースの学外利用に関する取り組み状況（学認、VPN対応等）

○その他

- ・Ⅰ. 方針等決定やV. テレワークについては、大学全体の決定事項であることから、設問に含めることが適切であるか疑問である。
- ・各設問について、回答の日程基準（いつの時点、いつまでの期間なのか）を明示してほしい。
- ・各設問はなるべく選択形式で回答できることが望ましい。（自由記述が多くなると、結果報告を「館灯」に掲載することを踏まえると、編集作業等において負担が大きくなる。）

また、運営委員から、アンケート作成において、SurveyMonkeyを使用しなかった理由について質問があり、委員長校から今回のアンケートは自由記述が多くなることから、回答結果の編集作業等においては、Excelの方が作業しやすいと判断したためとの回答があった。

続いて委員長校から、今後のアンケート作成・実施等作業について、数校の方にご協力頂きたいとの提案があり、次の3校に協力頂くことが了承された。

なお、委員長校からアンケート実施案については、委員長校及び協力頂く3校と検討の上、

後日、メール審議で諮らせて頂きたい旨の発言があり、了承された。

- ・山田委員（愛知淑徳大学）
- ・田中委員（金城学院大学）
- ・澤木委員（名古屋女子大学）

4. その他

- ・主幹事校から、2020 年度研究会催案内文（Zoom 開催）を、医学図書館主催の研修会開催案内等を参考に作成の上、文案をメール審議で諮らせて頂きたいとの発言があった。
- ・運営委員から、例年 11 月頃に当該年度の研究会事業が終了し、翌年 2 月に次年度運営委員による準備会議が開催され、そこで次年度研究会事業の方針等を決めていたが、今年度は 3 月まで当該年度の研究会事業が継続される。そのため、次年度委員長校（椋山女学園大学）による次年度体制での活動やコンテンツ担当業務の引継ぎ等について、例年とは異なる対応になると思われるが、現段階での方針等を教えて頂きたいとの発言があった。それに対し委員長校から、前例のない状況のもと、次週以降に次年度委員長校（椋山女学園大学）、今年度理事校（日本福祉大学）との各業務引継ぎに関する打合せを行う予定であり、様々な課題等を整理した上で、次年度研究会事業や体制等についての検討を進める予定である旨の回答があった。
- ・主幹事校から、コロナ渦により今後の予測が難しいこともあり、研究会事業の開催回数や方法等について、これを機に新しい形式を検討する必要があるのではないかと発言があり、委員長校から、現在西地区部会の方でスリム化について検討されており、そちらの状況も併せて複合的に考えていく必要があるため、何をどう引き継いでいくかといった課題も含め、現段階ではもう少し状況をみて考えていきたいとの回答があった。

以 上